

## 2020 年度実施概要

学校名

阪南市立尾崎小学校
-----------

採択活動名

地域に根ざした海洋教育
-------------

実施単元

単元名	学年	教科
1. 海洋教育オリエンテーション	4～6	総合
2. アマモ花枝採取、生き物観察	6	総合
3. 漁業ってなに？ 尾崎漁港へ行こう 私たちの漁業	5	総合・社会
4. 海藻おしばをつくろう	3	総合・図工
5. チリメンモンスターを探そう	2	生活
6. ビーチコーミング ビーチプレートをつくろう	1	生活・図工
ビーチコーミング 海の漂流物を使ってつくろう	2	生活・図工
7. 私たちにできること（ポスター作成・校内掲示）	6	国語
8. うみのかくれんぼ	1	国語
9. 水辺の学校（9月：男里川 10月：尾崎海岸）	4	総合・理科
10. アマモ種子選別	6	総合
11. 大漁旗を描こう	5	図工
12. 漁師さんに聞いてみよう（聞き書き、新聞作成・校内掲示）	5	総合・社会
13. SDG sを知ろう	6	総合
14. アマモ苗床づくり・播種	5	総合
15. 私たちの海でワカメを育てよう	5	総合
16. 育てたワカメを収穫しよう ワカメを佃煮にしてみよう	5	総合・家庭科

## 取り組みの概要

### 1. 概要

本校は、男里川がすぐそばを流れており、河口も尾崎海岸も近くにあり、海洋教育を進めるうえでの立地的条件は整っている。しかし、昨年度までは、男里川での「水辺の学校（水質について知る、生き物を見つける）」以外の活動を行っていなかった。

そこで、今年度からは、海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加し、海洋教育実施校（西鳥取小学校・下荘小学校・舞小学校）との連携・交流および地域の尾崎漁業協同組合やNPO大阪湾沿岸域環境創造研究センター、男里川環境保全委員会と協働して取組を実施した。

### 2. 目標

- (1) 「海」での活動の楽しさや生き物の多様性、アマモ場の環境保全活動、地域について知る。
- (2) 知り得たことをもとに、自分たちができる事を考える。
- (3) 考えたことを実行していく中で、身近な環境や地域を大切にしていこうとする心情や食への関心、思いを形にする実行力などを見につける。

### 3. 取組

**【海に親しむ】**海に自然に親しむ、海の多様性に触れる

○ビーチコーミング（7月）1・2年

近くの海岸を歩いて、生き物を探したり貝殻などを拾ったりする  
拾ってきた貝殻などを用いてフォトスタンドをつくる

○チリメンモンスター探し（7月）2年

チリメンモンスターを探す活動を通して、海の生き物の多様性について知る

○臨海学舎（9月）5年

カヌーや筏に乗る活動を通して、海での楽しさに触れる

**【海を知る】**海に自然や資源・人との繋がりについて関心を持つ

○海藻おしば体験（7月）3年

海藻を用いて、絵葉書をつくる

○漁港見学（7月）5年

近くの尾崎漁港を見学し、漁師から漁船や漁具について学ぶ

○水辺の学校（9・10月）4年

近くの男里川で、災害や水質について学ぶ  
男里川やその河口で、生き物調査をする

○聞き書き学習（10月）5年

尾崎漁業協同組合の漁師を招き、漁師から人となりや海・漁業に対しての思いを聞く

**【海を守る・利用する】**海の保全活動を体験する、自分にできることを考えて実行する

○アマモ花枝採取・生き物調査・地曳網体験（6月）6年

尾崎海岸のアマモ場で、アマモの花枝を採取したり生き物調査をしたりする

○環境保全ポスターづくり（8・9月）6年

海の環境保全について調べ、環境に優しい取組を啓発するためのポスターをつくる

○アマモ種子選別（9月）6年

アマモの種子を選別する

○漁業新聞をつくる（11月）5年

聞き書きで教えてもらったことをもとに、新聞づくりを行い、全校児童に向けて発信する

○アマモ苗床づくり・播種（11月）5年

○ワカメ種糸つけ（12月）・収穫（3月）5年

○ワカメ調理（3月）

収穫したワカメを用いて、佃煮をつくる

#### 4. 成果

- ・活動初年度だったが、多くのゲストティーチャーの方に関わってもらえたことで、全学年で「海」とのつながりを感じさせる活動を行うことができた。
- ・地域教育協議会と連携した取組として海岸清掃活動があったが、希望者として全学年からの参加があった。
- ・主な活動を5年生で実施することにしたが、社会科での学習の理解を深めるだけでなく、委員会活動にもつなげることができた。
- ・アマモの水槽を校内に置くことができたこと、実践報告会のポスターを他校分も含めて校内掲示できたことで、全学年の児童が自分たちの学んでいることをより実感することができた。

#### 5. 課題

- ・他教科等との関連性を意識して活動する。  
(活動を単発的なものとして終わるのではなく、学年を重ねることでさらに学びを深められるように)
- ・自分たちが学んできたことを地域に発信していく。  
(児童が地域とともに活動しながらともに生きていけるように)

#### 活動中の写真

オリエンテーション



ビーチコーミング



水辺の学校：海

